

事務事業名	障がい者相談支援事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画体系	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	障がい者福祉G	課長名	中島 豊
施策名		(19)障がい者福祉の充実	担当者名	野々村 達志	電話番号(内線)	0854-40-1042 3618
基本事業名	(055)相談体制の強化	予算科目	会計	款	項	目
			1	15	5	45
						1
						障害者相談支援事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(18年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、関係機関との調整、支援計画の作成などを行う	障害者自立支援法に定められている市町村が行う必須事業

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	報奨金 10,000円	国庫支出金	千円							
	需用費(消耗品費) 2,300円 (燃料費) 6,184円	県支出金	千円							
委託料 17,000,000円	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	18,000	17,087	17,019	19,320				
	事業費計(A)	千円	18,000	17,087	17,019	19,320	0			
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	福祉法人との協議、業務委託契約、委託料の支払い等の業務	正規職員従事人数	人	1	1	1				
		延べ業務時間	時間	210	210	210				
		人件費計(B)	千円	801	816	828	0	0		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	18,801	17,903	17,847	19,320	0		

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	「社会福祉法人仁寿会」「社会福祉法人雲南広域福祉会」「社会福祉法人雲南ひまわり福祉会」に対して事業を委託した	ア 委託事業者数	カ所	4	3	3	4		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
	「社会福祉法人仁寿会」「社会福祉法人雲南広域福祉会」「社会福祉法人雲南ひまわり福祉会」に対して事業を委託予定	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	障がい者やその家族等からの相談に対応している	⑥ 対象指標							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 相談件数	件	19661	19364	15626	20000		
	障がい者福祉に関する情報提供や関係機関との調整をする	イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	安心して地域で暮らせるようにする	ア 障がい者が社会参加しやすい環境である市民の割合	%	24.2	25.7	24.9			
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
障害者自立支援法が始まり定着しつつある。国では制度の見直し作業をしている。	自立支援協議会準備会の設立。22年度協議会を設置し、相談支援事業所との定期会議予定。連携強化を検討。	制度が複雑で分かりにくくので相談を充実してほしい 児童に関する相談業務を強化してほしい

事務事業名	障がい者相談支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 障がい者の自立と社会参加につながる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 障害者自立支援法に規程されている地域生活支援事業の必須事業の一つであり、市町村が実施することとなっている
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象者は、障害者自立支援法により、障がい者等に限定されている
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 専門的な職員の配置増や関係機関の一層の連携により、案件数・困難事案の増加に対応する
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 障がい者等が相談する場所・機会が失われ、障がい者福祉が著しく低下する
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 相談業務は多岐に渡る場合が多く、他事業との連携による包括化は、事業の有効性を高める。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 認定等の受給者管理、給付の支払審査業務は、国により統一的に定められており、独自の対応は困難
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 既にシステム導入により削減を達成している
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 制度で定められた指定サービス事業者、認定された障がい者を対象に、データ管理している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現在、相談支援事業は事業委託しているが、適正なサービス計画と給付費の一体的管理により、事業の有効性・効率性をより高めていくためには、包括化等の検討が今後必要になる。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 障がい者に対する業務を整理・調整していく必要がある。また、相談支援事業委託先の社会福祉法人とも、実施体制・内容について協議していく必要がある。																							